

第4章



環境保全に向けての
参加の推進

第4章 環境保全に向けての参加の推進

第1節 環境保全思想の普及・啓発

1 環境教育【高校教育課・特別支援教育室・義務教育課】

(1) 環境教育のねらい

学校においては、持続可能な社会の実現を目指し、児童生徒の環境問題への関心を高めるとともに、人間と環境のかかわり方や環境に対する人間の責任・役割について理解させ、環境の保全やよりよい環境の創造に向け、生涯にわたって主体的に行動できる能力や態度を育成することが大切です。

そのためには、以下のことが求められます。

- ①教育課程への適切な位置づけと、年間指導計画に基づいた指導
- ②全教職員の共通理解の促進と推進体制の確立
- ③地域の人材や自然、素材（ひと・もの・こと）等を生かした学習活動の工夫

(2) 「環境教育講座」の実施

教育センターの研修講座で、小・中・高・特別支援学校の教員を対象に、体験活動とおして、環境教育について認識を深めるとともに、指導力の向上を図る目的で実施しました。

○平成22年度「環境教育講座」

目的…環境教育においては、児童・生徒が、まず自分たちが住んでいる地域をよく知り、環境に対する意識を高めることが重要である。そのための調査活動や実験を体験し、日々の環境教育実践に役立てる。

期間…1日

会場…島根県教育センター、松江城堀川周辺

受講人数…33名（小：19名、中：7名、高：5名、特：2名）

研修内容

実習1 五感による環境調査、外来種の観察、ネイチャーゲーム

実習2 土の豊かさ測定

実験 ポリカップのリサイクル実験

講師…株式会社藤井基礎設計事務所

花田晋一郎

株式会社藤井基礎設計事務所

櫛谷 知之

島根県教育センター指導主事

(3) 「学校版エコライフチャレンジしまね」の推進

- ・環境に負荷の少ない学校運営を目指して、平成18年度から県内全ての公立・私立・附属学校を対象にして開始しました。
- ・各学校での消費エネルギーを入力すると、自動的にグラフ化して表示したり、二酸化炭素の削減量を表示したりできる。また、各学校の取組計画や、活動レポートを掲載し、県民に広く公開することで、情報の発信や共有化も可能である。
- ・平成23年3月31日現在、298校の登録（県内の全ての小・中・高等学校・特別支援学校の約70.4%）がありました。
- ・「学校版エコライフチャレンジしまね」のURLアドレス及びトップページアドレス
<http://www.ecoschool.jp/scl/>

(4) 補助事業

「学校版エコライフチャレンジしまね」の登録促進と、環境学習の充実を目的に、産業廃棄物減量税の一部を活用し、小・中学校は「環境教育推進事業」、県立学校は「環境保全活動推進事業」を実施しました。

① 環境教育推進事業

学校版エコライフチャレンジしまね登録数に対し、1校5万円を上限に、希望する

第4章 環境保全に向けての参加の推進

市町村に対して補助を行いました。平成22年度は、18市町の192校に交付しました。交付対象校は、その成果等を「学校版エコライフチャレンジしまね」の各校のホームページ上でレポートしました。

② 環境保全活動推進事業

希望する高等学校、特別支援学校に対し、一般的な環境教育および3R推進活動に1校30万円を上限とし補助を行いました。平成22年度は、計20校に交付しました。

(5) 環境教育の実践例

① 小・中学校の取組

○斐川町立荘原小学校

「環境に優しい学校づくり、花と緑のある学校」をめざし、児童と教職員、地域の方々が協力した取組みが展開されています。

- ・「みんなで調べる宍道湖流入河川調査」参加

校区を流れ宍道湖に流入する河川である新建川の水質調査に取組み、その細やかな調査、報告に対して、平成22年度「環境大臣表彰」を受けました。

- ・花と緑のある学校づくり

学校を花と緑でいっぱいにと、地域ボランティアの方々と一緒に種から育てた苗を植えています。秋にはマリーゴールド、サルビアなど色鮮やかな花が咲き、目を楽ませてください。

- ・「学校版エコライフチャレンジしまね」への参加

節水や節電、リサイクルに取組み、生活の中で児童に節電の大切さ等の意識変化が見られています。

○出雲市立佐田中学校

山の懐深く緑あふれる佐田地区のよさを生かしながら町内の森や学校林を守り、さらに木材を活用して作り出した作品を町内に還元するという意欲的な活動が行われています。

- ・水源の森を保全する活動

森林組合の協力を得て、水源林の下草刈り、除材、枝打ちなどの育林作業を行い、地区内の水源林を守っていくための環境整備に取り組んでいます。

- ・制作活動

学校林を間伐し、その材を加工して、ベンチやプランターボックス等を制作しています。作品は市内公共施設、福祉施設、小学校等に寄贈し、多くの人々に安らぎを与えています。

- ・「学校版エコライフチャレンジしまね」の参加

生徒会活動の一環として、アルミ缶のタブ集めやペットボトルのキャップ回収運動、空き教室の暖房、照明をこまめに消す運動を行っています。

② 県立学校の取組

○出雲農林高等学校

- ・間伐材を利用したアジサイ花壇作り

グランド法面に間伐材で土留めを施し、花壇をつくりました。景観を向上させるとともに、水路へ流出する土砂を減らし環境改善を図ることができました。

- ・ハマボウフウを通した海岸の環境保全

出雲市長浜海岸で、小学生、地域住民とともにハマボウフウの苗を植え、浜の復元活動を行っています。いまでは、長浜地区以外の人も参加する大がかりな環境保全活動となりました。

【各種受賞校等】

- みんなで調べる宍道湖流入河川水質調査

- ・環境大臣賞

斐川町立荘原小学校

- ・島根県知事賞

奥出雲町立馬木小学校

- ・国土交通省中国地方整備局長賞

松江市立忌部小学校

松江市立湖東中学校

- ・ 宍道湖水質汚濁防止対策協議会長賞
 - 松江市立母衣小学校
 - 松江市立玉湯小学校
 - 出雲市立伊野小学校
 - 雲南市立田井小学校
- みんなで調べる中海流入河川水質調査
 - ・ 島根県知事賞
 - 安来市立赤屋小学校
 - ・ 島根県教育長賞
 - 安来市立南小学校
 - ・ 奨励賞
 - 安来市立能義小学校
 - 安来市立第一中学校
- 環境美化教育優良校表彰
 - ・ 散乱防止部門優良校
 - 応募なし
 - ・ リサイクル部門優秀校
 - 応募なし
- 緑の少年団発表大会
 - ・ 最優秀賞
 - 浜田市立今市小学校 緑の少年団
 - ・ 優秀賞
 - 松江市立八雲中学校 緑の少年団
 - ・ みどりの奨励賞
 - 出雲市立四絡小学校 緑の少年団
 - 益田市立真砂小学校 真砂っ子緑の少年団
 - 川本町立川本中学校 緑の少年団
 - 雲南市立三刀屋中学校 緑の少年団
 - 江津市立桜江中学校 緑の少年団
- 愛鳥モデル校
 - ・ 安来市立南小学校
 - ・ 奥出雲町立高尾小学校
 - ・ 斐川町立出東小学校
 - ・ 益田市立桂平小学校

2 こどもエコクラブ事業 【環境政策課】

こどもエコクラブ事業は、次世代を担う子供たちが、地域の中で仲間と一緒に主体的に地域環境、地球環境に関する学習や具体的な環境保全活動を展開できるように支援することを目的として、環境省の委託を受けた財団法人日本環境協会が実施しました。

平成22年度は、県内で69のこどもエコクラブが結成され、川の水質調査、生物調査など様々な活動を行いました。県は活動推進のため、各クラブ間の交流会を10月及び1月に開催しました。

表4-1-1 こどもエコクラブの登録状況

	登録クラブ	メンバー/ サポーター (人)
平成7年度	37	84/-
平成8年度	56	811/-
平成9年度	44	621/-
平成10年度	54	735/106
平成11年度	54	609/145
平成12年度	41	643/147
平成13年度	36	745/151
平成14年度	38	1,165/211
平成15年度	56	1,168/198
平成16年度	46	1,029/250
平成17年度	38	691/202
平成18年度	34	809/208
平成19年度	60	4,406/583
平成20年度	48	1,996/439
平成21年度	78	2,811/577
平成22年度	69	3,084/538

第2節 各主体の環境保全活動の推進【環境政策課】

1 普及啓発事業

(1) 環境月間行事

平成6年度から環境月間を6月に改め、6月5日の環境の日を中心として、各種の事業を実施しています。

① 環境保全功労者の表彰

環境保全に関し、特に顕著な功績のあったものに対して知事感謝状を贈呈しました。

② 「クリーンしまね—環境美化行動の日」

実践活動を通じて環境美化意識や資源を大切にす意識の普及啓発を図るため、環境美化行動の日を設定し、広く一般参加を得て清掃活動、空き缶の分別収集とリサイクル等を行いました。

期日：6月6日(日)

提唱：島根県

内容：市町村、各種団体等により公園、緑地、水辺等の清掃や空き缶の分別収集

(2) 環境保全普及啓発の広報

今日の多様化した環境問題を解決していくためには、県民、事業者及び各種団体等の自主的かつ積極的な活動が不可欠となっています。

そこで、すべての県民が環境に配慮した行動がとれるように、県の環境施策や各種月間等の環境情報について、最も効果的な伝達媒体であるマスメディアを活用し広報・啓発を図っています。

- ・新聞広報 5件
…環境月間、地球温暖化防止月間、省エネルギー月間等
- ・ラジオスポット放送
…エコドライブ

2 環境白書の発行

本県の環境の状況や環境の保全に関する施策の実施状況等を取りまとめ、「環境白書」として作成し、各市町村、公立図書館や関係機関等へ配布するとともに県のホームページに掲載し、県民や事業者への公表に努めました。

3 環境マネジメントシステムの普及・啓発

「企業が環境に関する方針や目標等を自ら設定し、これらの達成に向けて自主的に取り組むこと」といった内容を指す「環境管理」について、国際的な統一規格としてISO14000シリーズ環境管理システムに関する一部が平成8年9月に規格化されました。

環境マネジメントシステムは、簡易版も含めて今日の環境問題解決への有効な手法であるので、事業者の認証取得への情報提供を図っています。

第3節 参加と連携による地域環境づくりの促進

[助しまね自然と環境財団実施事業]

1 こども環境学習支援事業

(1) しまね環境学習推進事業（もったいない生活日記コンクール）の実施

県内小学生を対象に「もったいない生活日記コンクール」を実施し、親子で地球温暖化防止の取り組みをしてもらいました。

参加者：2,737人

参加校及び参加者に記念品贈呈

(2) 島根オリジナル環境学習展開事業

20年度から島根の自然環境を題材とした小学生向け環境学習プログラムを作成し、これを教員及び小学生グループで試行し、改善検討を行いました。

検討会開催：3回

学習教材の試行：2種

2 環境保全活動支援事業

(1) 環境情報収集・整理・提供

① 図書・器材類を収集・整理し県民に分かりやすく提供しました。また、ホームページで各種情報案内や各事業に関連するサイトで情報を提供しました。

購入図書：18冊

パネル及び器材の貸出：20回

② 機関誌の発行

財団の情報誌「さんべ発」などを利用して情報提供を行いました。

配付部数：(固定) 約3千部×6回

(2) ネットワークの形成

県西部に環境問題に取り組むモデル団体を育成し、西部地域のネットワークの形成や運動の広がりを推進しました。

(3) 環境保全活動助成事業

① ふれあい環境助成金の交付

県内のボランティア団体や法人が行う自主的な環境保全活動を支援するため資金の一部を助成しました。

助成件数：36件

助成額(確定)：8,140千円

② 講師・指導員派遣事業

環境アドバイザーとして15名を委嘱し、県民や事業者が実施する研修会等に派遣しました。

派遣件数：19件

3 地球温暖化対策事業（島根県地球温暖化防止活動推進センター事業）

(1) 島根県地球温暖化対策協議会の運営

平成17年に設立した島根県地球温暖化対策協議会の事業として5月に幹事会、5月と3月に推進会議、12月に推進大会、また島根県地球温暖化対策実行計画策定にあたり年間8回の実行計画検討会を実施しました。3部会（家庭、事業者、行政）運営の実施及び協議会ホームページにより情報提供を行いました。

(2) 温暖化防止県民運動の展開

平成17年度からの「県地球温暖化対策推進計画」の実施に伴い、地球温暖化防止活動推進員及び市町村等との連携により、県民あがりの取り組みとして環境家計簿（エコライフチャレンジしまね）の推進を図りました。（H22年度末のべ参加者：9,789世帯）

また、地球温暖化防止への取り組みを推進するため、県内一円でエコドライブ推進キャンペーンやレジ袋削減キャンペーンなどを実施しました。

第4章 環境保全に向けての参加の推進

(3) 省エネ・3Rの県民行動促進（しまねCO₂ダイエット作戦）事業

省エネ製品への買い換えやレジ袋を断る等のCO₂削減につながる消費行動に対して、事業者サイドがエコポイント等経済的インセンティブ(サービス)を付与する社会の仕組みづくりを促進し、県民の自主的な取り組みを誘発しました。

協賛店舗数：1,118店

(4) 環境フェアの開催

「しまねエコフェスタ2010」を開催し、環境団体活動の展示、活動発表を行い、団体間交流と県民への情報発信を行いました。

- ・日 時 平成22年10月23日～24日
- ・場 所 大田市（島根県立三瓶自然館）
- ・参加者 28団体、約9,000人
- ・概要 エコステージでは「拡げようエコの輪！」と題し、環境ボランティア団体からの活動発表、石見神楽や須佐太鼓の上演、ローカルヒーローショー、ミニエコ劇場等を行いました。イベント広場では、環境団体活動展示、エコクラフト体験、エコアクションラリー、地産地消・地元産品市等多彩な催しを行いました。

(5) 地球温暖化防止活動推進員派遣事業

国庫補助金を活用して、家庭での取り組みの可能なエコ活動を子どもに焦点を当てて本事業に取り組みました。県内8地域ごとに推進員と学校関係者との検討会を実施した。また、希望校に推進員を派遣し、出前講座や貸出エコバックの取り組みなどエコ活動への取り組み誘導を行いました。

4 県住宅用太陽光発電等導入促進支援事業

クリーンな新エネルギーとして普及啓発を図るための県の住宅太陽光発電システムの導入補助金の取扱窓口団体として、平成22年度も引き続き申請の受付、相談、実績報告等の事務処理を行いました。

申請件数：1,131件